

くらサポ ニュース ^{NO.} 75

発行：地域福祉相談支援センター

2021/1/01

深谷市で、1月より くらサポスタート

12月の三芳町につづき、2021年1月から深谷市で「くらしサポーター」活動が始まります。

コーディネーターの池田典子さんは、「まだ実感がないが、深谷でくらサポ活動と生協運動を広げていきたいです」と抱負を語りました。

深谷東支部支部長の永田さんは、「今まで支部で行ってきた見守り活動をくらサポ制度でも実施できるようになり良かった。高齢・独居の方を訪ねた先で、様々な要望を聞き



ました。これからは、大勢のサポーターで援助していきたい」と語っています。

深谷生協訪問看護ステーションは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくり行い、孤独にさせないサポートを目指して『深谷生協安心システム』を立ち上げました。ここに「くらサポ」が加わることで、更に充実した地域づくりがすすみそうです。

年末には、
こんな依頼が来ています



「くらサポ」活動にあたって 感染予防の徹底を

- 利用者、援助者ともに対面するときにはマスクを着用しましょう
- 利用者や家族、援助者に発熱や風邪の症状がある場合は援助を延期します
- 援助活動の際には、密接、密閉にならないようにし、とくに換気には気を付けましょう
- 援助活動前後には、手洗いを実施しましょう

所沢市では、換気扇と照明器具の傘の掃除。川越市でも照明器具の傘の掃除と窓ふき。さいたま市では、窓拭きや仏壇の掃除。狭山市では、引越しの準備と整理。草加市では、縁の下の掃除など。

依頼の内容も季節によっていろいろと変わりますね。



くらしサポーター活動実施16自治体

川口市、川越市、さいたま市、所沢市、熊谷市、ふじみ野市・富士見市、上尾市、草加市、桶川市、秩父市、朝霞市、飯能市、狭山市、三芳町、深谷市、新座市(開設準備中)



医療生協さいたま

直通電話 048-296-8692

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

埼玉県川口市木曾呂1317 (ふれあい会館2F) FAX 048(294)1490
午前9時～午後5時(月曜日～金曜日)



9/5 三芳支部運営委員会
「くらサポを知る会」

各地域では、「暮らしサポーター活動」をひろげるために「学習会」や「知る会」、訪問行動など行っています。

三芳支部では「知る会」などを通して検討を重ね「暮らしサポーター」を立ち上げることができました。また、所沢市の「くらサポ交流会」では、学習会に参加した方が、あらためてサポーターとして再登録されました。

このように、地域での活動が広がり原動力となっています。皆さんの支部や地域でもチャレンジしてみませんか

地域に「暮らしサポーターをひろげる」活動

9/17~18 川口市
ABCD支部長会議
ミニ学習会「くらサポ
拡大協力をお願い」

8/7 埼玉西協同病院
職員向け学習会

9/28 CCはんのう
職員向け学習会

10/5、12/7
新座支部運営委員会
「くらサポを知る会」

11/16 所沢市
「暮らしサポーター交流会
会」17名の参加。「感染予防」
の学習とサポーター交流会

11/30 狭山市
暮らしサポーター学習会

11/30 飯能市
暮らしサポーター学習会

* 1/12さいたま市岩槻区
新春暮らしサポーター交流会



10/6 朝霞支部運営委員会
「サポーターを増やし、くらサポ
認知度アップ」学習会



各地域包括、他事業所、市役所等
への訪問活動

◎飯能市（8月に2回）

◎狭山市（10月に3回）